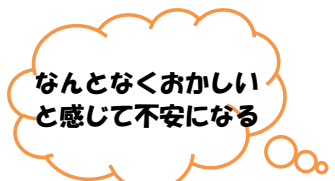
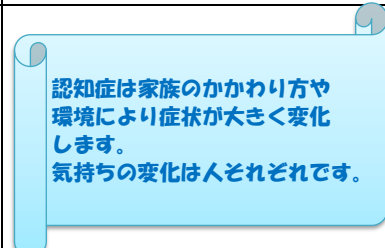
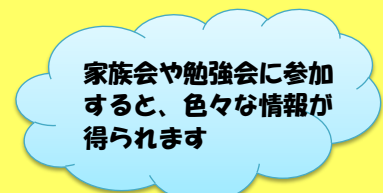
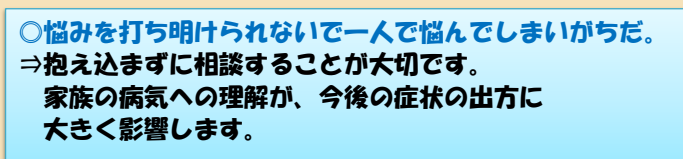
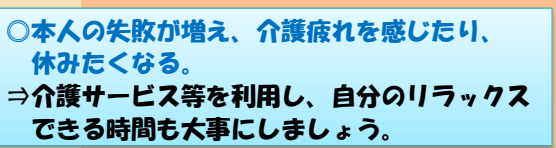
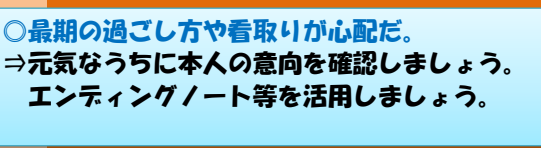


認知症の状態に応じた支援やサービス

サービスの内容や対象者など詳しくは高齢者相談支援センターでご案内します。



	健康	認知症の疑い (気づきの時期)	⇒ 見守りが必要 (発症した時期)	⇒	日常生活に手助けが必要 (症状が多くなる時期)	⇒	常に介護が必要
本人の様子	 なんとなくおかしい と感じて不安になる	●物忘れ ●同じことをくりかえし聞く ●片づけが苦手になる ●物が無くなる ●外出がおっくうになる	●探しものをする時間が増える ●食事の支度が一人では難しい ●火の消し忘れ ●金銭の管理や支払いが難しくなる ●小銭で払うことが苦手になる	●薬を間違えて飲む ●たびたび道に迷う ●季節に合った服が選べない ●家電の操作が難しくなる ●生活リズムが乱れる	●トイレの場所がわからない ●道に迷って帰ってこられない ●日にちや季節がわからなくなる ●洋服の着かたがわからない		●自分で食事ができなくなる ●言葉によるコミュニケーションが難しい ●歩行が困難 ●起き上がるために介助が必要
家族の気持ちと対応	 認知症は家族のかかわり方や 環境により症状が大きく変化 します。 気持ちの変化は人それぞれです。	 家族会や勉強会に参加 すると、色々な情報が 得られます	 ○悩みを打ち明けられないで一人で悩んでしまいがちだ。 ⇒抱え込まずに相談することが大切です。 家族の病気への理解が、今後の症状の出方に 大きく影響します。		 ○本人の失敗が増え、介護疲れを感じたり、 休みたくなる。 ⇒介護サービス等を利用し、自分のリラックス できる時間も大事にしましょう。		 ○最期の過ごし方や看取りが心配だ。 ⇒元気なうちに本人の意向を確認しよう。 エンディングノート等を活用しよう。
本人やまわりの人が やっておきたいこと、 決めておきたいこと	◇友人や地域とのつながりを大切にしよう ◇今までやってきたことをやめずに続けよう ・地域の活動 ・支えあい活動 ・ボランティア ・認知症サポーター 等	◇まわりの人に相談してみましょう ◇1日の計画を立てて行動してみましょう ◇高齢者相談支援センターに相談しましょう ◇かかりつけ医に相談しましょう ◇元気なうちから生前整理に取り組みましょう ◇外出の機会を持ちましょう ◇本人の話をじっくり聞きましょう	◇一人で行うことが難しい場合はまわりの人に手伝ってもらいましょう ◇相談できる人を見つけておきましょう ◇今まで通り、外出したり人に会う機会を持ちましょう ◇将来に備えて成年後見制度等の利用について検討しましょう		◇本人の「得意」を生かし、その人らしい生活をどのように送っていくのかを考えていきましょう ◇介護サービスなどを利用してお互いにリラックスできる時間を持ちましょう ◇施設での生活を希望する場合は早めにいくつかの施設を見学しておきましょう		
相談	東海市高齢者相談支援センター①						
		認知症初期集中支援チーム ①					
		若年性認知症相談 ⑤					
		認知症の人と家族の会 介護者家族による電話相談 ⑪					
		ケアマネジャーによる相談支援					
予防		東海市の運動教室 ③					
		脳の健康教室・認知症予防活動 ③					
	地域で行っている茶論 ④）・ゴムバンド運動 ④）・百歳体操 ③						
			介護予防サービス ①				
医療・介護		介護保険申請の相談	介護認定の取得・介護サービスの利用			家族の介護負担の軽減	
						介護サービス（訪問介護・通所介護・通所リハビリ・短期入所・訪問看護等）	
		かかりつけ医・サポート医・歯科医・薬局					
生活支援・見守り (家族支援・権利擁護)	認知症サポーター養成講座・認知症に関する出前講座・認知症講演会 ①						
		東海市の高齢福祉サービス ②					
		東海市認知症高齢者等見守りネットワーク（認知症高齢者等見守り登録、個人賠償責任保険加入、見守りシール）、行方不明高齢者SOS情報配信事業、行方不明高齢者家族支援サービス等					
		民生委員・地域のボランティア ④）地域支えあい登録団体・老人相談員 ②					
		認知症カフェ・認知症の人と家族の会・家族支援プログラム ⑪					
		日常生活自立支援事業 ④			成年後見制度 ⑥		
住まい		認知症グループホーム					特別養護老人ホーム
		有料老人ホーム・ケアハウス・サービス付高齢者向け住宅					